



## スイス仲裁法の使いやすさ

スイス仲裁法は簡潔で読みやすいです：スイスを仲裁地とする国際仲裁手続は、19条の簡潔な条文により構成された独立の章である**スイス国際私法に関する法律 (PILA) 12章**によって規律されます。PILAの公式版は、**ドイツ語**、**フランス語**、**イタリア語**で用意されており、非公式の英語版は**こちら**で入手できます。

スイス仲裁の判例法はオンラインで入手可能です：スイス最高裁判所（仲裁判断の取消申立に関する管轄を有する唯一の審級）の判断は、取消申立がいずれの言語で申し立てられたかに応じて、ドイツ語、フランス語又はイタリア語で言い渡されます。これらの判断は検索機能も有する**最高裁判所のウェブサイト**から無料で入手できます。国際的な重要性に鑑みて、国際仲裁の分野についてのスイス最高裁判所の判断は頻繁に英語に翻訳されています。そのような翻訳は**Swiss International Arbitration Decisions**でオンラインにて無料で入手できますし、**Swiss International Arbitration Law Report**を購読することにより紙面で入手することもできます。

商事紛争についての仲裁廷の判断は入手しにくいことで悪名が高くなっていますが、**スイス仲裁協会**によって四半期毎に発行される機関誌である**ASA Bulletin**において、多くの仲裁判断や手続命令が匿名化された形で、（一部）公表されています。ASA Bulletinは仲裁判断の取消申立についての主要なスイス最高裁判所の判断の要約も掲載しており、**Kluwer Arbitration**にてオンラインで入手可能です。

スイスにおける仲裁についての英語の論文が複数あります：スイスにおける仲裁に関連する多くの書籍が英語で制作、出版されています。こうした書籍は、ICC規則、スイス規則及びスポーツ仲裁規則（“Code of Sports-related Arbitration”（**CAS Code**））のようなスイスにおける仲裁に適用がある多くの規則並びにPILAについてのコンメンタールや、スイスにおける仲裁についての論文も含んでいます。

スイスの仲裁代理人は国際的な事項に精通しています：スイスには、国内外で訓練を受けた経験豊かな、高度に専門化された仲裁代理人の集団があり、そこから代理人を選ぶことができます。加えて、スイスの弁護士は多くは流暢な英語を話し、非常に多くの場合、イギリスやアメリカの大学でLL.M.の資格を取得することで、海外留学や海外での職業経験をj得ています。したがって世界中の仲裁の利用者は、自分達の文化や法制度を十分に知る経験豊富な仲裁専門家をスイスで見つけることができると思っているといいです。